



図書館の書架からは雪崩のように本が落ちる



り災証明書の受け付けには派遣職員の姿も



ライフラインとなる水道・下水道の復旧



仮置き場に次々と運び込まれる災害ごみ

再度、



文化会館のガラス面にひび



浄化センターの棚は横倒しに



第一保育所の園庭には至る所に亀裂が



町民グラウンド駐車場に横たわる電柱

脅威



倒壊した木山の六地藏石幢



惣領木神社の境内



木山中学校に続く道路に現れたひび

令和8年7月28日(火) マグニチュード7.1 益城町震度6強

令和8年熊本地震

震災の恐怖、再び

7月28日、熊本県として三度目となる最大震度7を観測する地震が発生しました。

益城町では震度6強を観測。あの甚大な被害を残した平成28年熊本地震から10年、復興の歩みを着実に進めてきた益城町は、再び大きな試練に直面しました。

発災後、町では広範囲にわたり停電、水道管破損、道路損傷などのインフラの被害に加え、公共施設や住家、農業施設などにも多数の被害が報告されました。

町は直ちに災害対策本部を設置し、避難所を開設。総力を挙げて水道施設の復旧や、給水支援をはじめとする支援活動を行いました。

現在は、災害ごみの受け付けや、被災・り災証明書の発行に加え、生活再建のための支援業務に取り組んでいます。



倒壊した農業用倉庫。前回の地震から再建した倉庫が、再び無残な姿に



カタルの会議室はパネルが外れる

益城町の被害状況(8月21日時点)

住家被害	3,222件(罹災証明書申請件数)
人的被害	負傷者11人(県発表)
避難所	最大5カ所(福祉避難所除く)
避難者数	最大461世帯751人
道路・橋梁被害	253カ所
農業施設被害	342カ所